

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第5週に3,980件の報告があり、依然として多い状況が続いています。オミクロン株は、これまでの株に比べて感染力が強く、拡大のスピードが極めて速いため、感染を減少させるためには、徹底した感染対策を続ける必要があります。また、広島県内の医療機関での検査陽性率は4割近くになっています。発熱、のどの痛み、咳など風邪症状を感じたら、出勤や登校をせず、すぐに医療機関を受診しましょう。

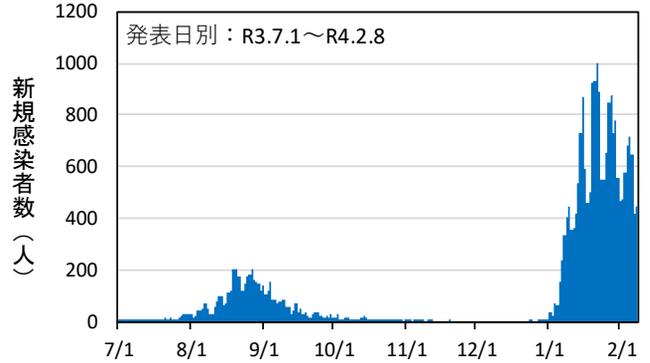
2 感染性胃腸炎

定点当たり6.38人の報告がありました。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

3 梅毒

8件の報告がありました。今年の累計は21件(昨年同時期は3件)となり多い状況が続いています。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



広島県実施のPCR等検査

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

PCR検査の実施について(広島県)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/269/hiroshimapcrcenter.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	26.93		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.05	
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.29			RSウイルス感染症	4	0.17	0.32	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.21	2.16		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	153	6.38	5.81	◇		流行性角結膜炎	1	0.13	0.38	
	水痘	1	0.04	0.18		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	13	0.54	0.19	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.17			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	
	突発性発しん	7	0.29	0.16			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.07		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.09		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	5	10歳未満、70歳代
4	日本脳炎	1	1	80歳代
4	レジオネラ症	1	3	40歳代
5	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	80歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	1	30歳代・エイズ
5	梅毒	8	21	30歳代・1人、40歳代・4人、50歳代・1人、60歳代・2人
5	破傷風	1	2	80歳代
5	百日咳	1	3	10歳未満

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			広島市	第1週	-	6	9	131	7	38	-	2	3	-	6	-	2	-	-	-	-	-
	第2週	-	5	7	181	2	25	-	2	3	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	第3週	1	3	4	139	2	16	-	9	4	4	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	第4週	-	9	3	181	4	15	-	3	7	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	第5週	-	3	5	153	1	13	-	7	4	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第1週	-	0.25	0.38	5.46	0.29	1.58	-	0.08	0.13	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
		第2週	-	0.21	0.29	7.54	0.08	1.04	-	0.08	0.13	0.04	0.13	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-
		第3週	0.03	0.14	0.18	6.32	0.09	0.73	-	0.41	0.18	-	0.09	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-
		第4週	-	0.39	0.13	7.87	0.17	0.65	-	0.13	0.30	0.04	0.04	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-
		第5週	-	0.13	0.21	6.38	0.04	0.54	-	0.29	0.17	-	0.17	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-
	全国	第3週	0.01	0.20	0.58	8.04	0.09	0.32	0.02	0.30	0.08	0.02	0.50	-	0.17	0.01	0.02	0.01	-	-	-	0.01
		第4週	0.01	0.14	0.48	7.10	0.08	0.26	0.01	0.25	0.05	0.02	0.49	-	0.17	0.01	0.01	0.01	-	-	-	0.01

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第5週(1月31日～2月6日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	合計
707	537	505	594	649	340	227	191	230	-	3,980

【累計報告数(2月6日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

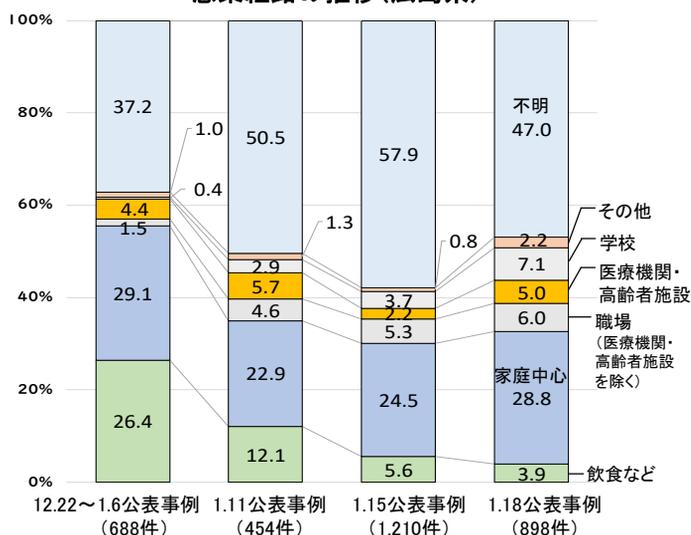
10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	合計
3,331	3,970	6,941	5,062	4,999	3,453	2,062	1,652	1,521	67	33,058

**「風邪かな?」と感じたら、かかりつけ医や
コールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566 に連絡・相談しましょう。
全日24時間対応**

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

【参考】新型コロナウイルス感染症の感染経路について(広島県)

感染経路の推移(広島県)



広島県によると、感染経路が判明した事例のうち、感染拡大初期の12月22日～1月6日では、「家庭中心」と「飲食など」が大きな割合を占めていました。その後まん延防止等重点措置の実施などにより、「飲食など」が減少し、家庭が主な感染の場となっています。家庭内に持ち込むと、感染力の強さから多くの家族が感染し、そこから職場や学校に持ち出され、感染が高止まりする原因になると推測されています。まずは家庭に持ち込まない、そして家庭から持ち出さない取組を徹底しましょう。

【家庭に持ち込まない】

・接触機会の削減(外出削減、テレワークの推進)

【家庭から持ち出さない】

・風邪症状がある人は、出勤・登校・登園等をせず、すぐに医療機関を受診
・症状がない他の家族も、外出をできるだけ控える

【参考】オミクロン株による感染急拡大を踏まえた今後の対応の全体像～重症化予防の徹底～【R4.2.3会見】(広島県)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20220203.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター一丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp